

Mizuho Daily Market Report

2024/7/22

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	157.37	157.48	+0.11	▲0.35
EUR	1.0887	1.0882	▲0.0015	▲0.0025
AUD	0.6696	0.6685	▲0.0021	▲0.0099
SGD	1.3443	1.3453	+0.0013	+0.0044
CNY	7.2674	7.2699	+0.0078	+0.0195
MYR	4.6800	4.6858	+0.0163	+0.0143
THB	36.24	36.28	+0.31	+0.08
IDR	16189	16190	+33	+52
PHP	58.33	58.35	+0.10	▲0.03
INR	83.63	83.66	+0.00	+0.13
VND	25339	25333	+15	▲83

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.239%	+3.7 bp	+5.6 bp
日本(10年)	1.044%	+0.2 bp	▲2.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.467%	+3.5 bp	▲2.9 bp
オーストラリア(5年)	4.009%	+2.4 bp	▲5.0 bp
シンガポール(5年)	3.036%	+3.2 bp	▲6.0 bp
中国(5年)	1.959%	▲1.3 bp	▲3.1 bp
マレーシア(5年)	3.597%	+0.2 bp	▲2.4 bp
タイ(5年)	2.377%	+1.1 bp	+0.9 bp
インドネシア(5年)	6.840%	+1.7 bp	▲1.0 bp
フィリピン(5年)	6.135%	+2.7 bp	+7.2 bp
インド(5年)	6.923%	+0.4 bp	▲5.5 bp
ベトナム(5年)	2.130%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	40,287.53	▲0.9%	+0.7%
N225(日本)	40,063.79	▲0.2%	▲2.7%
STOXX50(ユーロ圏)	4,827.24	▲0.9%	▲4.3%
ASX(オーストラリア)	4,473.44	▲0.6%	▲1.1%
FTSE(シンガポール)	3,447.56	▲0.7%	▲1.4%
SSEC(中国)	2,982.31	+0.2%	+0.4%
SENSEX(インド)	80,604.65	▲0.9%	+0.1%
JKSE(インドネシア)	7,294.50	▲0.4%	▲0.5%
KLSE(マレーシア)	1,636.55	+0.2%	+1.1%
PSE(フィリピン)	6,791.69	+1.3%	+2.2%
SETI(タイ)	1,317.14	▲0.6%	▲1.1%
VNINDEX(ベトナム)	1,264.78	▲0.8%	▲1.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	280.36	▲1.8%	▲3.5%
金	2,400.83	▲1.8%	▲0.4%
原油(WTI)	80.13	▲3.2%	▲2.5%
銅	9,179.32	▲0.8%	▲5.6%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	155.00	—	159.60
EUR/USD	1.0770	—	1.1050
AUD/USD	0.6585	—	0.6980
USD/SGD	1.3310	—	1.3530
USD/CNY	7.2460	—	7.3290
USD/INR	4.5400	—	4.7230
USD/THB	35.60	—	37.65
USD/IDR	16000	—	16350
USD/PHP	57.80	—	59.70
USD/INR	83.00	—	84.10
USD/VND	25,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は157円台前半でオープン。実質五・十日ということで、朝方から実需勢のドル買いフローなどを背景にドル高円安基調になった。そうしたなかで、午後にかけても、この流れが継続し、一時157円台後半まで上昇。その後も高値圏での推移となり、そのままの水準で海外時間に渡った。

アジア通貨は台湾ドルが8年ぶりの安値を付けた。11月の米大統領選でトランプ前大統領が返り咲けば一國主義に再び転じるとの懸念で、台湾の半導体株が売られたことが要因。

海外市場のドル円は157円台半ばでNYオープン。米経済指標の結果発表が予定されていない中、午前中は海外時間に低下していた米金利が上昇する動きに追随し、157円台後半まで上昇。しかし、その後は伸び悩み、157円台前半まで反落。午後は週末を控え値幅が限定的の中、157円台半ばを中心とした狭いレンジ推移が続き、そのままクローズ。

【金利】

米10年債利回りは前日比上昇。米経済指標の発表もなく目立った材料がない中で、欧州時間までは横ばいが続いていたが、米国時間に入ると米金利は上昇に転じた。一時4.24%台まで上昇し、そのままのレベルでクローズした。

【予想】

本日のドル円は上値の重い展開を予想。月末に日銀金融政策決定会合を控える中、上値の重い展開は続きそう。また、米大統領選挙では、民主党の大統領候補として、バイデン氏が撤退し、ハリス氏が候補として上がってきており、米大統領戦をめぐる市場の織込みも一旦はリスクオフモードを意識する展開か。

【本日の予定】

(日本) 6月 首都圏新築分譲マンション
(日本) 流動性供給入札
(アジア) 6月 NZ 貿易収支
(アジア) 7月 韓国 輸出 20日間 / 輸入 20日間
(アジア) 中国 LPR(1Y、5Y)
(アジア) 休場 タイ
(欧州) 6月 仏 小売売上高
(欧州) 6月 愛 PPI
(欧州) 独 国債入札(6M、12M)
(米国) 6月 シカゴ連銀全米活動指数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。